

# 漁海況情報第7報 (2022年11月17日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

宮城県沿岸の142°E以西の表面水温は概ね平年並となっている。100m深水温は平年よりも高めとなっている。

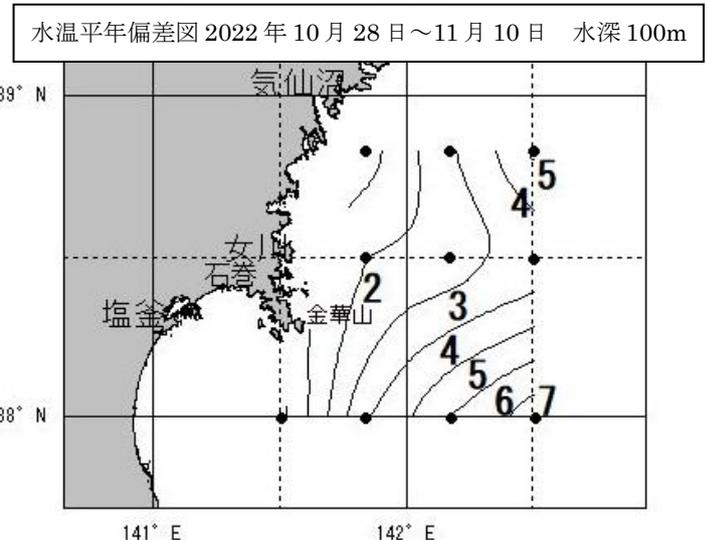
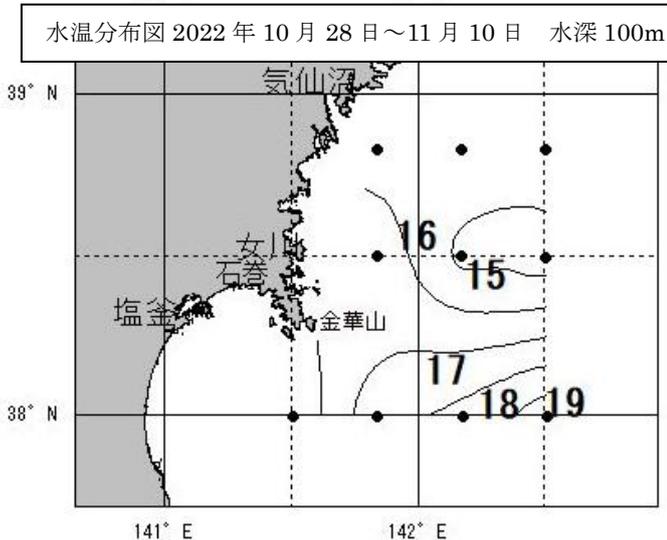
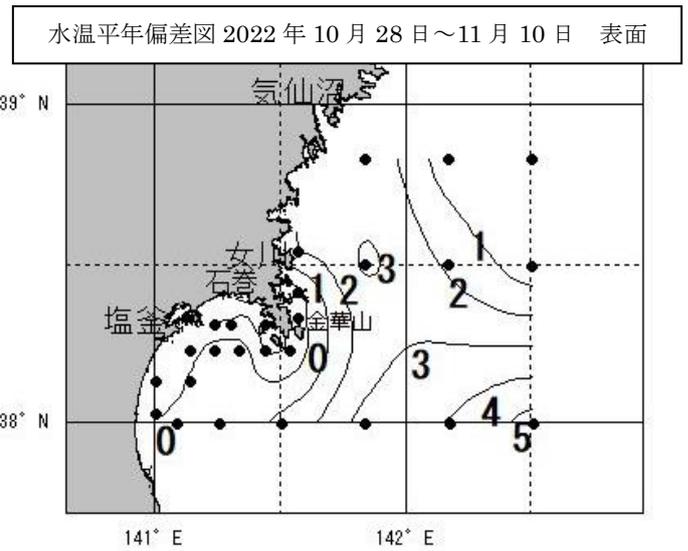
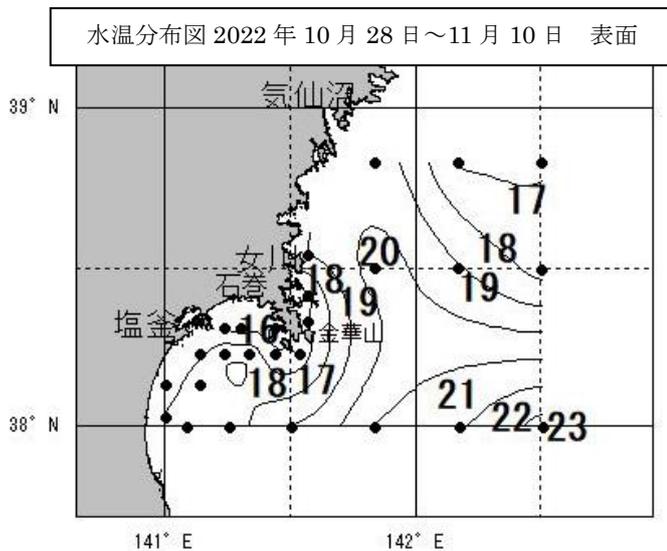
宮城県沿岸の表面水温では16~23℃台で、142°E以东で最大5℃、平年よりも高めとなっております。100m深水温は14~19℃台となっており、北上暖水の波及により142°E以东で最大7℃、平年よりも高めです。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図] [P2. 水温鉛直断面図] [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮沿岸系水の先端は、北海道落石岬の南南東沖20海里、勢力は前年より優勢 [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

11月上旬の定地水温は15~17℃台で、気仙沼(杉ノ下)で極めて高め、他の観測点ではやや高め~高めとなっています。なお、江島についてはメンテナンス中のため、観測を停止しています [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は7~18℃台となっています。 [P3. 海底直上水温図]。

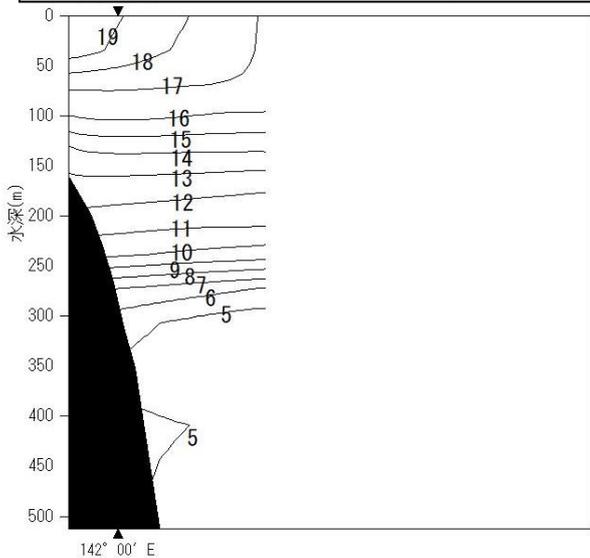
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

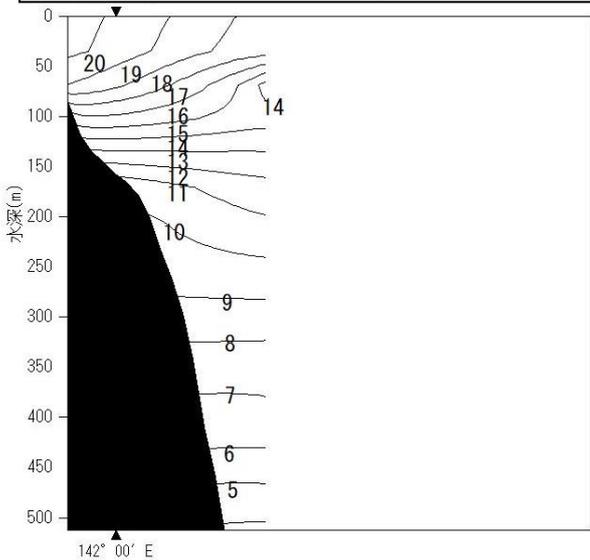


・水温鉛直断面図

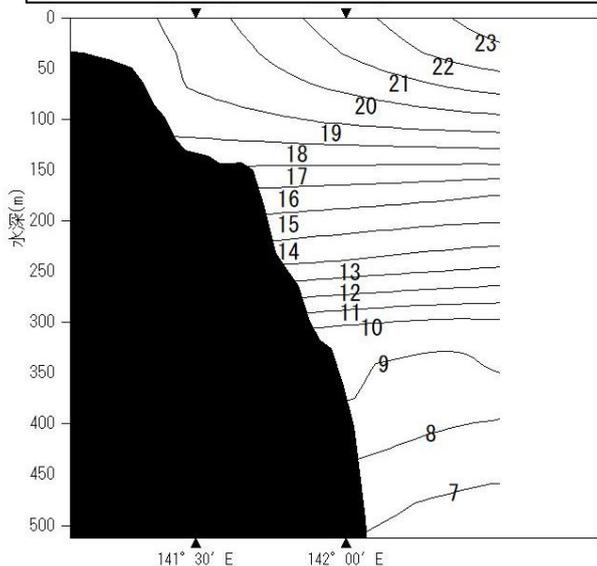
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

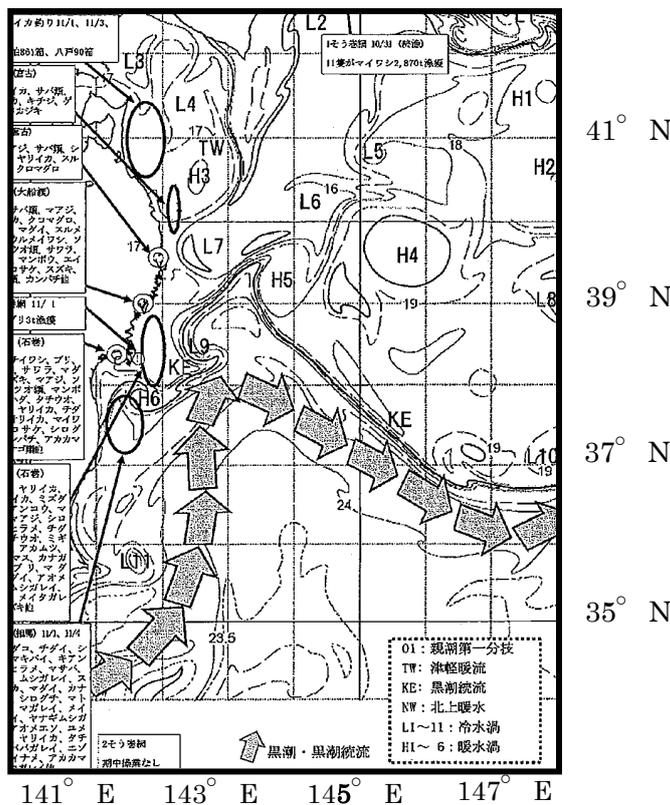


38° 00' Nライン (亘理沖合ライン)



2022年11月4日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

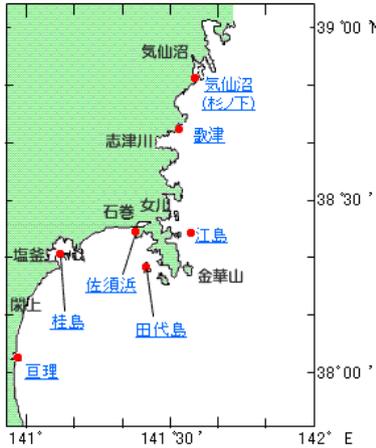
【海況】 (11月4日表面水温)

- ・親潮沿岸系水の先端は、北海道落石岬の南南東沖 20 海里、勢力は前年より優勢。
- ・津軽暖流の張り出しは、北海道襟裳岬沖からやや西で停滞し、降温が進む。
- ・黒潮続流は、房総～常磐南部沿岸に接岸後、福島県請戸から離岸して北上し、岩手県宮古沖に達した後南東に流去。

【漁況】 (11月1～5日)

- ・巻網：1そう巻網は1隻がブリ 3t 漁獲。2そう巻網は期中操業なし。
- ・定置網：石巻はブリ、カタクチイワシ、サバ類が主体。
- ・カツオ竿釣：福島県沖海域、日本太平洋中部海域、三陸南部沖海域、房総沖海域で操業の延べ 31 隻が 36t 漁獲。
- ・サンマ棒受網：大型船 59 隻、小型船 72 隻が 1,947t 水揚げ。

## ・定地海洋観測



	11月上旬	平年差	前年差
気仙沼 (杉ノ下)	17.4	極めて高め	2.6
歌津	17.0	高め	1.7
江島	—	—	—
田代島	16.6	やや高め	1.0
佐須浜	16.4	やや高め	1.5
桂島	14.6	高め	1.6
巨理	16.6	高め	1.8

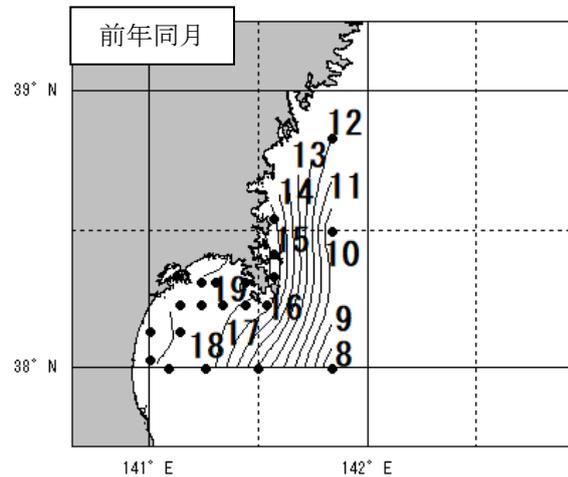
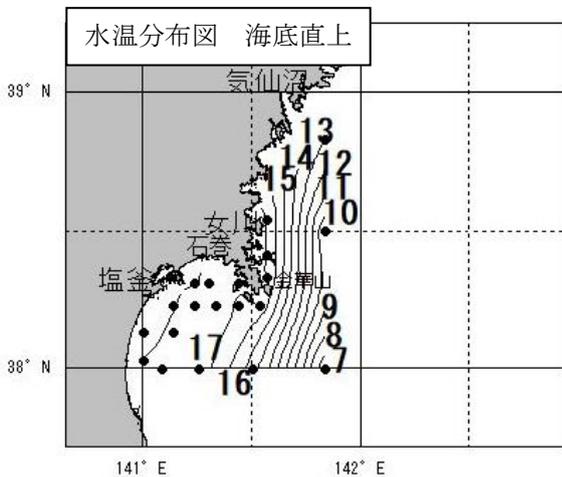
※平年値 = 過去30年  
 ※佐須浜 (過去10年)  
 ※歌津 (平成28年12月から観測再開)  
 ※桂島 (平成24年3月から観測開始)  
 ※巨理 (平成24年10月から観測開始)

※—: メンテナンス中

※最新の定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

## ・海底直上水温図

・海底直上水温(2022年10月28日～11月10日) ・海底直上水温(2021年10月26日～11月13日)

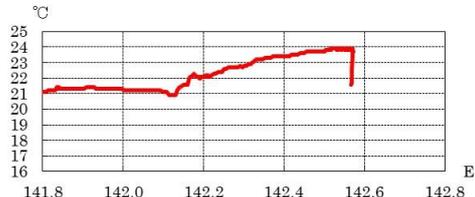
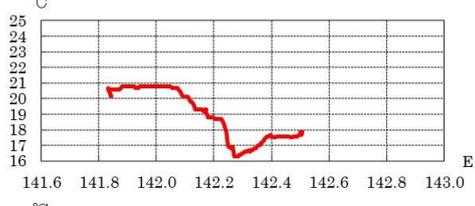
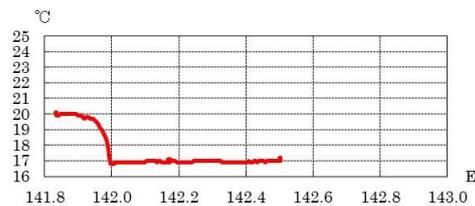
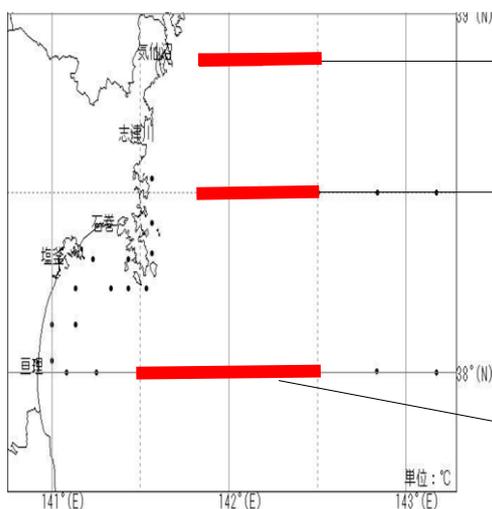


(※観測水深は500mまでです)

## 2. 表層水温情報

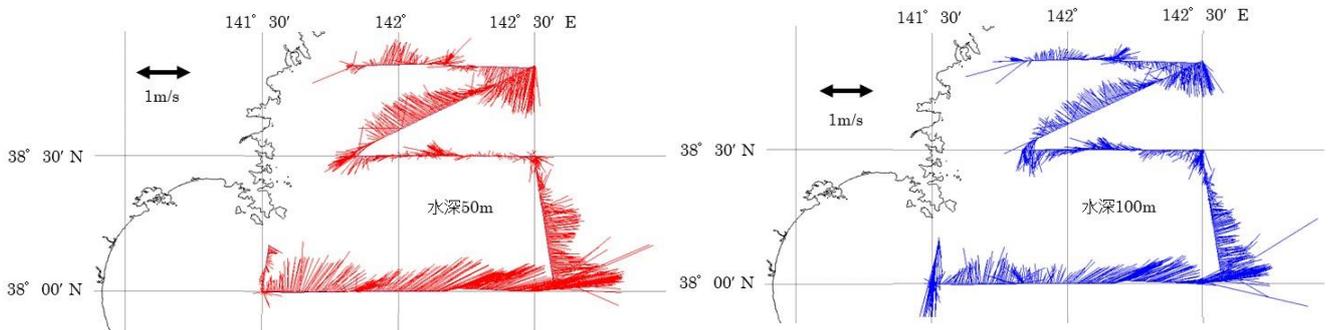
みよしおによる航走表面水温については、次のとおりです。

2022年11月9日～10日



### 3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

### 4. 漁況

10月の水揚量は前年と比較してサバ類、マアジ、サンマは増加しています。キハダ、カツオ、クロマグロ、ビンナガ、サワラなどは減少しています。

(単位：トン)

2022年10月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
カツオ					646	0			0	3	0	649	20%
クロマグロ			33			7			3	1	6	49	27%
メバチ					1				258		0	259	68%
ビンナガ					0				25	0	1	26	35%
キハダ					2				5	1	0	8	16%
マイワシ			3,281			18					3	3,302	53%
カタクチイワシイワシ						197					41	238	76%
サバ類	2,897	26	282			534	8				32	3,779	241%
マアジ	28	10				35	2				4	79	200%
ブリ	0	7	0			366	1		0		22	397	99%
ヒラメ	1	27				4	8		0		8	48	127%
マコガレイ	0	3				0	1		0		1	5	82%
マガレイ	1	4										5	129%
ババガレイ	3	0				0	0				0	3	129%
サンマ				1,571							1	1,572	337%
スルメイカ	205	1				0		0			0	207	72%
ヤリイカ	120	46				11					1	178	56%
シロサケ	1	0				16	6				27	51	136%
マダラ	5	0					0				6	10	109%
サワラ	0	0			0	4	3		0		0	8	27%
ガザミ			0			0	17				45	62	70%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。